

11月8日 第8回上総一宮児童作品展

中央公民館にてMOA美術館・一宮町文化協会・上総一宮児童作品展実行委員会主催の第8回上総一宮児童作品展の表彰式が開催されました。平成30年度から始まった本作品展は今年で8回目を迎えました。10月28日から11月14日まで中央公民館1階ロビーで受賞作品の展示も行われました。

絵画の部では24人、書写の部では5人の皆さんに賞を受賞されました。おめでとうございます。

【教育課 田中 佑樹】



▲記念品を贈呈する町長

11月10日 第2回街頭啓発およびカーブミラー清掃

一宮町交通安全対策協議会で第2回街頭啓発およびカーブミラー清掃を行いました。
玉前神社前交差点において、啓発物資の配布や安全運転の呼びかけを行い、街頭啓発終了後、
会員の皆さんと町内のカーブミラー清掃を実施しました。

【都市環境課 林 翔士】



▲街頭啓発およびカーブミラー清掃の様子

11月11日 東部地区社会福祉協議会「敬老のつどい」

ホテル一宮シーサイドオーツカで東部地区社会福祉協議会「敬老のつどい」が開催されました。100人以上が参加され、参加された皆さんのが歌謡が披露されるなど盛大に催されました。

【福祉健康課 中村 崇宏】



▲尺八を披露する町長

11月12日 西部地区社会福祉協議会「敬老のつどい」

一宮館で西部地区社会福祉協議会「敬老のつどい」が開催されました。大勢の方が参加され、介護予防推進員によるサーフィン音頭や歌謡が披露されるなど盛大に催されました。

【福祉健康課 長谷川 舞】



▲町長挨拶、サーフィン音頭の様子

11月15日 一宮町生物文化多様性計画策定記念講演会・シンポジウム

中央公民館大会議室にて、一宮町および一宮町森里川海共生ネットワークの共催による、「一宮町生物文化多様性計画策定記念講演会・シンポジウム」が開催されました。

本イベントでは、計画策定の経緯やその内容などの説明、外部講師による基調講演を行いました。また、パネルディスカッションでは、多数のパネリストをお招きし、「生物多様性とネイチャーポジティブ」の観点からそれぞれ講演をいただき、意見交換を行いました。

最後に、馬淵町長から「一宮町ネイチャー＆カルチャーポジティブ宣言」を行い、一宮町の環境や文化の保全・発展に向けた取組みをより一層推進していくことを表明しました。

参加された皆さん、ありがとうございました。

【都市環境課 川島 謙真】



▲「一宮町ネイチャー＆カルチャーポジティブ宣言」を行う町長

11月17日 東浪見地区社会福祉協議会「敬老のつどい」

シーサイドオーツカで東浪見地区社会福祉協議会「敬老のつどい」が開催されました。大勢の方が参加され、寿扇会の踊りや参加された皆さんのが謡が披露されるなど盛大に催されました。

【福祉健康課 長谷川 舞】



▲町長挨拶の様子

11月19日 第1回一宮町複合施設建設推進委員会

老朽化が進む中央公民館の整備は、町民の皆さんが世代を超えて”集い・学び・交流できる拠点”となる施設を目指し、現公民館機能と町民の皆さんから出された要望を叶える複合施設として新築で整備することになりました。

施設整備を推進し具現化していくため、幅広い分野から選ばれた18人の委員で構成される「一宮町複合施設建設推進委員会」を新たに設置し、第1回の会議が開催され出席しました。

町民の皆さんから親しまれた中央公民館に代わり町のシンボルとなる新しい施設の建設場所や規模、資金計画など、町の未来につながる重要なテーマについて意見を交わしながら検討を進めています。

【企画課 富塚 貴弘】



▲町長挨拶の様子



▲委嘱書交付の様子

1月22日 市川市・一宮町合同森林イベント

憩いの森にて開催された「市川市・一宮町合同森林イベント」に出席しました。

今回のイベントの参加者は、一宮町と市川市の小学4年生から小学6年生です。市川市の森林環境譲与税を活用して整備したエリアを中心に、桜の植樹を行い、その後、船橋市立一宮自然の家までウォークラリーを実施しました。

当日は天候にも恵まれ、一宮町からは12人、市川市からは25人の総勢37人の参加がありました。

今年度は協定3年目となり、本イベントのほかに発生木材の加工を行っていきます。

【産業観光課 村杉 祐星】



▲参加児童との記念撮影